

太田かずみの政策提言



こども

子育て世代を全力で応援

- 働くママやパパのために駅前保育ステーションを整備します。
- 「こども広場」と「こども図書館」を駅前に設置し、気軽に立ち寄れる空間を作ります。
- インフルエンザを含む予防接種の助成拡大を行い、子育て家庭をサポートします。
- 現在は中学校までの医療費助成を高校卒業まで行います。
- MFICU(母体胎児集中治療室)とNICU(新生児特定集中治療室)を設置します。
- 保育園の質と量を確保し、お子さんも保護者も保育士も安心安全な環境整備を進めます。
- 「幼・保・小・中」をクロスフェード化する取り組みを進め、ギャップの解消に努めます。
- 学童保育の質と量を確保し、地域でこどもを育てます。
- 児童相談所の整備にあたっては、専門的なスキルを持った人材を十分に確保し、虐待を含む様々な子育ての悩みに応える体制を目指します。
- 病児・病後児保育の拡充を行います。

教育

すべての子ども達の可能性を伸ばすために

- 学校給食に質と学びの両方を保つため、自校方式を維持します。
- 給食費補助・学用品・給付奨学金制度を整備し、教育機会の平等を図ります。
- サポート教員を配置し、質の高い教育環境を作ります。
- 通学路の安全に向けた整備の徹底を行います。
- 障がい児・外国人など個別のニーズに応える指導を提供する学びの場を充実させます。
- いじめや不登校など、子ども達の悩みに向き合う相談窓口の充実を図ります。
- GIGAスクールの取り組みを進め、これからの教育のあるべき姿を模索します。
- LGBTQ、ダイバーシティなどの相互理解の基となる人権教育を推進します。
- スクールカウンセラーをすべての学校に配置します。

保健福祉

健康で安心して暮らせる社会

- 市立柏病院の現地建替えを進め、基幹病院としての機能を充実させます。
- 特養ホーム、グループホームの整備を進めます。
- 在宅医療や介護の資源確保に取り組みます。
- 認知症検査を無料で実施するなど、認知症予防を推進します。
- 地域包括ケアシステムを発展させ、地域に重層的な相談支援体制を構築します。
- 高齢者・障がい者等の就労を支援し、自己実現と社会参加を後押しします。
- 公園や広場に健康遊具を設置、インストラクターの巡回指導で健康づくりを支援します。
- 保健所と医師会、医療機関等の連携を深め、市民の健康を守るのに必要な体制を構築します。

「あなたのふるさとになりたい」



まちづくり

住みやすいまちナンバーワン柏を目指して

- 市内全域にコミュニティバスの実現を検討します。
- シルバーパスを導入し、お年寄りの外出をサポートします。
- 空き地・空き家対策を推進し、土地や物件の利活用を図ります。
- ペットと共存できるまちづくりを行います。
- 高さ制限・用途地域の変更を積極的に行い住みやすい街づくりを行います。
- 16号バイパスの整備促進を引き続き行います。

防災

自然災害に強い強靱な柏づくり

- 住宅・建物の耐震浸水防止、市内に散在する土砂災害危険箇所について、安全対策を進めます。
- 要支援者避難リストと福祉避難所の整備を進め、ペットを含め誰も取り残さない避難体制を構築します。
- 防災拠点や避難所に水・トイレ・非常用電源を確保し、「発災後72時間」を乗り切るため万全な体制を構築します。
- バリアフリーやプライバシー、心のケアに配慮した「避難生活のあるべき姿」を追求します。

防犯・地域コミュニティ

市民協働・地域コミュニティの推進

- NPOやボランティアの“地元愛”を結集させた「まちづくりステーション」を設置します。
- 地域の自主的な防犯活動を後押しして、まちの体感治安の向上を図ります。
- 地域に根ざす小学校を軸としたコミュニティの構築を進めます。
- 南部地域に警察署を設置するよう、県に働きかけます。

環境

グリーンで持続可能な社会の形成

- 沼南地域に自治体新電力会社を設立、再生可能エネルギーの地産地消を実現します。
- 手賀沼の水質改善を近隣自治体と協力して進め、周辺整備を行い自然を生かした観光拠点を目指します。
- 市全域のごみ処理ルールの一掃とごみ処理体制の広域化で、効率的なごみ処理を実現します。

行財政運営

持続可能な都市経営を目指して

- 「選択と集中」で、財政運営にメリハリをきかせます。
- 公共施設のマネジメント計画に、将来に向けた戦略を盛り込みます。
- 大切な税金はなるべく市内で循環させ、市と市民がWin-Winとなるよう努めます。